

飲水思源

町長

松岡市郎

トビーさんの死を悼む

トビーさんは、米国出身者で東川町に住宅を建設し、定住した第1号の人だったと思う。3月下旬、山スキー中に雪崩災害に遭遇し、救出されてから3度目の手術の時には奥さんの言葉にうなずき返事を交わしたという。強じんなトビーさん、絶対に回復してくれるものと信じていたが、力尽きて帰らぬ人となってしまった。悼んでも悼みきれぬものではない。

町民運動会では皆を引っ張り綱引きなどにも参加していた。忠別湖でカヌーを漕ぎ、バイク（自転車）で旭岳温泉へ向かい、旭岳の頂上への登山を組み合わせた大会、「Sea to Summit（シー・トゥー・サミット）」でも断トツで優勝した。町で仕事をしている海外からの人々の頼れる良き相談者であった。「トビーさんのお家へ行く」は、耳に馴染んだ言葉になっていた。

出棺の日、奥さまが「夫トビーには2つの夢がありました」と語ったそうである。一つは北海道の最高峰・旭岳が見える、この愛する東川町に家を建てること。彼は断熱材に東川の農家の稲わらを使い、2階から大雪山連峰を見渡すことができ

る素晴らしい家をコツコツと仲間とともに完成させた。この経過が素晴らしい。新しい家での暮らしは、およそ3年間という短い期間であったが、見事に一つの夢は実現した。

もう一つの夢は「東川とアメリカの架け橋」になることであったという。今年3月には英語指導員を辞め、まちなかにある旧店舗を改装し、多くの人々のコミュニケーションの場として6月にもカフェのオープンを決めていたのだ。このお店も自らの手で毎週土、日曜日に一年以上もかかってコツコツと改装中だった。もう少しのところまで来て夢を実現できなかったのは本当に残念である。この夢が実現していたら、彼の情熱と人脈でまちなかは変わっていたことだろう。

「大雪山を愛し、東川が大好きな人、友情の輪を大切にしたい人だったトビーさん」を同僚と語る時、悲しみがこみ上げてくる。トビーさん、あなたの夢はきくと引き継がれることでしょうか。心からご冥福をお祈りします。町を愛していただき、そして夢をありがとう。

台掌

俳句

人生にまだ花粉症なかりけり	長谷川	きみゑ
花粉症十七文字が飛んで飛んで	小林	ろぼ
花粉症にも色あらば黄信号	高橋	公花
卒業生目線がすべてものを云ひ	杉山	ひろのり
風光る本屋の棚の美文字本	保科	なほ
内股の足跡森へ雪女郎	徳光	吐苦
捨てられぬ野良着た、みて春浅し	杉山	りつ
進級や受験戦争父母もまた	山口	佐知子
花粉症なってみなけりゃわかるまい	横田	則子
草も木もカレンダーめくる4月かな	若田	久
ネクタイの結び目堅し入社式	高瀬	潤
そうですかあなたもですかと花粉症	石澤	清宏
わが庭に遊ばせている春日かな	澤田	久美子
妙齢のむすめ泣かすか杉花粉	松山	蓉子
匂い立つ姿も悲し花粉症	三島	智
春時雨訃報の名には幸の文字	若田	郁
玄閑に春の兆し靴の泥	本田	咲
春の雪球根だって待ちぼうけ	山内	みゆ
宅配で届けられたる杉花粉	秋山	深雪

